

わくドキフェス



6年生は、西栗倉を元気にしたいという願いを持ちました。自分たちに何ができるかを考えた彼らは、まずは、小さい子どもたちを元気にしようと考えました。そこで思いついたのが、保育園に行って園児と遊んであげることでした。

いろいろな遊びを考えて臨んだ第1回目の訪問は、思ったほど園児が喜んでくれませんでした。

しかし、そこでくじけないのが彼らです。リベンジを誓って、どうすれば園児を喜ばせることができるかを保育園の先生に尋ねました。そこで教えていただいたことを基にして、第2回目の訪問を企画しました。

すると、園児は1回目よりも楽しい表情を見せてくれました。なんとか自分たちの目標を達成した6年生の顔にも、達成感と笑顔が見られました。